

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校

総務部

第 136 号

2015.09.18

レスリング部の活躍

電工コンテスト関東上位入賞

夏休みは資格取得

全国グレコローマン選手権出場

8月16日から18日に大阪府金岡公園体育館で行われた全国高校グレコローマン選手権大会へ参加しました。

50kg級出場の早川匠君(塩山北中出身)は4勝を挙げた後、準決勝で優勝者に敗れ3位決定戦にまわりましたが僅差で惜しくもメダルを逃し5位入賞。55kg級の矢部和希君(国府中出身)は2勝後の3回戦で優勝者に敗れた後、敗者復活戦を勝ち上がり3位決定戦まで進みましたが敗れて5位入賞。

60kg級の安楽龍馬君(韭崎西中出身)は4回戦で優勝選手に敗れて敗者復活戦にまわりましたが敗退。66kg級の下山田周君(竹来中出身)は4回戦で敗れましたが敗者復活戦を勝ち上がり3位決定戦へ進み前半を7対0とリードしながら後半に逆転を許し5位入賞に終わりました。74kg級の林雷君(長坂中出身)は、1

回戦から5試合を勝ち上がり決勝へ進みましたが10対12で惜しくも優勝を逃してしまいました。84kg級の清水幸汰君(明野中出身)と96kg級の古川裕貴君(楡形中出身)はともに一回戦敗退。120kg級の藤原亮君(韭崎東中出身)は4勝を挙げた後3位決定戦へまわりましたが4対5の僅差で敗れ5位入賞に終わりました。今回の大会はメダルにあと一步で届かなかった4試合と僅差で優勝を逃してしまうなど詰めの甘さを痛感させられました。秋の国体や来年に向け猛稽古に励んでほしいと思います。



資格取得：小規模ボイラ・ガス溶接講習会等

例年通り、今年も小規模ボイラ取扱技能講習(12名参加)、ガス溶接技能講習(57名参加)、移動式クレーン・玉かけ講習(17名参加)、フォークリフト運転技能講習1t以上(102名参加)など、就職に直接関係する講習に多くの生徒が参加しました。最近では求人票の条件欄に、資格を指定してくる企業もあり、特に3年生は9月からの就職戦線に備え、猛暑の中汗をかきながら一生懸命に取り組んでいました。

第2種電気工事士実技試験に向けて

本校電気科では、2年次に第2種電気工事士(一般の住宅などで屋内配線工事が出来る国家資格)の受験を行っています。また、他学科の生徒も受験にチャレンジし今年も



36名の筆記試験合格者(電気科25名・システム工学科4名・制御工学科3名・電子機械科2名・情報技術科2名)を出しました。さらに、筆記試験合格者を対象に7月6日より放課後の3時間、休日は6時間の時間をかけて講習会を行いました。最初は完成までに2時間近くかかった生徒も、その多くが講習会の後半では30分以内で課題が完成するようになり、7月26日に行われた実技試験の合格率は92%を達成しました。電気科の学年ごとの合格率ですが、3年生は93%、2年生は50%でした。

関東地区電気工事コンテストに出場

第14回関東甲信越地区電気工事コンテスト千葉大会が千葉市内の高度ポリテクセンターで8月29日に行われました。本校から県内予選を勝ち抜いた3年生油井七海さん(高根中学出身)と2年生伊藤駿君(菰崎西中出身)が出場しました。審査は105分の時間内に決められた課題を正確かつ綺麗に仕上げていきます。昨年も出場した油井さんは「今年こそは上位入賞」と決意し、8月10日から19日間休まずに課題に取り組みました。その結果ほぼミスなしで時間内に完成し見事3位入賞に輝きました。また、伊藤駿君は残念ながら11位となりましたが、来年につながる経験ができたと思います。本校から関東大会での上位入賞は久しぶりの快挙で、女子の入賞は初めてでした。今後は本校を上位入賞の常連校に育てていきたいと思っています。



レスリング国際大会出場



【写真提供:日本レスリング協会】

8月25・26日にボスニアヘルツェゴビナの首都サラエボで開催された2015世界カデット(Under17)レスリング選手権大会に林雷君(長坂中出身)と稲葉海人君(菰崎西中出身)の2名が参加しました。76kg級 林君は、1回戦イランの Moslem Moradi 選手に4対2の判定勝ちと強豪国イランを倒し幸先よいスタートでしたが、続く2回戦スロバキヤの Jozef Rohaly 選手に反り投げを受けてしまい1対6の判定で敗れ敗者復活へまわることなく終わってしまいました。46kg級 稲葉君は1回戦 Bye、2回戦でアジアカデット選手権3位のトルクメニスタン Resul Bayramov 選手に1Period フォール勝ち、続く3回戦もインドの Manoj Manoj 選手に6対0で快勝。準決勝となる4回戦でウズベキスタンの Turabek Tirkashev 選手にフォール負けし3位決定戦へまわりました。銅メダルを掛けてカザフスタンの Sultan Olzhas 選手と戦い前半を4対2とリードで折り返しメダルまであと少しでしたが、終了1分前に痛恨のそり投げを受けてしまい判定負けの5位に終わってしまいました。日本のグレコローマンチームで稲葉君が一番メダルに近い試合内容だっただけに悔やまれる一戦でした。林君は高校最後の国体に向けて、稲葉君は来年もう一度世界に向けてのチャンスがあるので今回逃した世界のメダルに向けて頑張りたいと思います。健闘を祈ります。



【写真提供:日本レスリング協会】

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp